

にらさき

第4回定例会（12月）	P 2
第4回定例会議決結果	P 4
委員会活動報告	P 5
ここが聞きたい（一般質問）	P 6



荏崎市消防団本団役員の皆さん



団旗入場

1月10日（日）、荏崎市営総合運動場で、荏崎市消防団の出初式が挙行されました。当日は天候にも恵まれ、多数の来賓の方々に出席をいただいた中で、志村団長指揮のもと、規律正しく統制された行動が各所で披露されました。

消防団の団員は団長、副団長、各町分団長及び副分団長、ラッパ隊、各分団団員総勢718名で構成されています。また団員は、本団、各町分団（11分団）に所属し、私たちの大切な「ひと」・「まち」を守るため、火災の予防活動や地域の見守り、また有事の際には先頭に立って活動できるよう日頃から鍛錬を重ねています。

第4回定例会

平成27年第4回定例会は、12月3日から21日までの19日間の会期で開催しました。

今議会では、平成27年度一般会計補正予算（第3号）ほか、4特別会計、1事業会計の補正予算、及び条例の制定、改正等24議案、人事1議案について審議しました。審議の結果は、議案第93号は否決しましたが、他の議案については可決、決定しました。また4つの恩賜県有財産保護組合議員の選挙を行い、指名推選によって各組合議員は当選されました。

なお、審議した条例等及び採決の結果は、4頁の「平成27年第4回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

【補正予算】

平成27年度一般会計補正予算（第3号）のほか、4特別会計、1事業会計に係る補正予算は財務常任委員会で審査し、本会議で審議しました。一般会計、後期高齢者医療特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、市立病院事業会計に係る補正予算は全員一致で、国民健康保険特別会計の補正予算は賛成多数でそれぞれ可決しました。

一般会計の補正前予算額 133億4,923万1千円
《補正予算額》 2,146万4千円
補正後予算額 133億7,069万5千円

介護保険課



■一般会計補正予算額の主なもの

- ☐ 市民交流センター管理運営費… 1,740万4千円
・「ニコリ」1階の改修等経費
- ☐ 保健福祉センター管理運営費… 389万8千円
・介護保険課の移転に伴う改修費

【主な条例の制定等】

■中小企業・小規模事業者振興基本条例（議案第77号）

市の責務や中小企業・小規模事業者の努力、地域経済団体や金融機関等の役割、市民の理解・協力など、市全体で中小企業の振興に取り組むことを定めたものです。

・施行：平成28年4月1日

■行政組織条例の一部を改正する条例（議案第80号）

保健課が所管している「介護予防支援」業務を介護保険課で所管する業務とする分掌事務の見直しを行うためのものです。

・施行：平成28年4月1日

お知らせ

現在、本庁舎1階で事務を行っている「介護保険課」は、4月1日から保健福祉センター（韮崎市立病院の北）に移動し、業務を行います。

■公の施設の指定管理者の指定について（議案第86号から議案第93号）

指定管理者制度は、公共施設の管理運営を広く民間事業者にも任せられることができる制度で、本市では平成17年6月議会において関係条例を制定しました。公共施設の管理を任せられる事業者を指定管理者と呼びます。なお、指定管理者の指定については、地方自治法の規定により議会の議決を経る必要があります。

今議会において、平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5年間、市内8施設の指定管理者について市長から提案され、本会議で採決の結果、7施設は全員一致で可決し、1施設は否決しました。
なお、提出された8施設及び採決の結果は次のとおりです。

● **市民交流センター及び市民交流センター駐車場**〔議案第86号〕 … **可決**

指定管理者：株式会社 まあめいく（荏崎市）

● **子育て支援センター** …… **可決**
〔議案第87号〕

指定管理者：特定非営利活動法人 子育て支援センター ちびっこはうす（荏崎市）

● **地域情報発信センター** …… **可決**
〔議案第88号〕

指定管理者：株式会社 まあめいく（荏崎市）

● **市立図書館**〔議案第89号〕 …… **可決**

指定管理者：株式会社 図書館流通センター（東京都）

● **老人福祉センター**〔議案第90号〕 … **可決**

指定管理者：社会福祉法人 荏崎市社会福祉協議会（荏崎市）

● **在宅老人デイサービスセンター 大草デイサービスセンター** … **可決**
こぶし荘〔議案第91号〕

指定管理者：社会福祉法人 荏崎市社会福祉協議会（荏崎市）

● **在宅老人デイサービスセンター 穴山デイサービスセンター** … **可決**
なごみの郷〔議案第92号〕

指定管理者：社会福祉法人 荏崎市社会福祉協議会（荏崎市）

※（ ）内は指定管理者の所在地

● **市文化ホール**〔議案第93号〕 …… **否決**

指定管理者：株式会社 ケイミックス（東京都）

総務教育常任委員長から、委員会では挙手採決の結果、賛成委員少数により否決すべきものと決したことが報告され、続いて討論が行われました。

【賛成討論】（要約）

指定管理者制度は、民間の能力を活用し住民サービスの向上を図るとともに、経費の削減等を図ることを目的とするものです。その趣旨・目的に沿って、広く事業者を募り、各応募事業者が競い合った上で、市文化ホールの適切な管理運営をできる事業者として、外部委員を含む選定委員会の審査結果を踏まえ提出されたものです。反対の立場の懸念は不正確であり、全職員の雇用の継続やこれまで武田の里文化振興協会が育んできた文化芸術を継承した上で、さらにより良きものへ高めようとするものです。

【反対討論】（要約）

市文化ホールの運営を峡北圏域の芸術文化の振興や地域文化の創造と発信を図るための事業を行い、豊かで潤いのある地域の形成と発展に寄与することを目的として市が創設した武田の里文化振興協会から、県外の全くの民間会社に変えるのではなく、協会が培ってきたものを活かし、さらには公的施設の職員として安定した雇用を継続するためにも、市内にある団体等の育成にこそ力を注ぎ、協力共同の関係を強くしていくことが真の市の活性化につながるものと考えます。

討論終了後に採決を行い、起立採決の結果、賛成議員少数で否決しました。

※来年度の市文化ホールのご利用を希望される皆様に支障が出ないよう、施設管理者の選定、運営等について協議を進めています。

【人事】

■人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員 小泉千寿子氏の任期が平成28年3月31日満了となるため、その再任者の推薦について市長から議会の意見を求める提案がされ、次の方の再任を決定しました。

小泉 千寿子 氏（藤井町）

【選挙】

次の各恩賜県有財産保護組合議員の任期が平成27年12月31日満了となるため選挙を行い、指名推選により当選しました。

■御座石恩賜県有財産保護組合議員

功刀征一郎氏（清哲町）
 名取 清嗣氏（清哲町）
 一木 長博氏（円野町）
 保坂 孝夫氏（本町）
 清水 一氏（本町）
 廣瀬 直洋氏（富士見）
 樋口 等氏（富士見）
 水川 勉氏（本町）
 太田 武士氏（中島）
 保坂 貞男氏（穂坂町）
 小澤 増起氏（藤井町）
 小田切 優氏（藤井町）
 小笠原七男氏（藤井町）
 岩田 清玄氏（藤井町）
 小林 孝之氏（中田町）

■第一御座石前山恩賜県有財産保護組合議員

水上 米藏氏（清哲町）
 田邊富士雄氏（清哲町）
 岩下 良一氏（本町）
 向山 和博氏（中島）
 伊藤 孟男氏（下祖母石）
 木内 吉英氏（若宮）
 井上 善吉氏（本町）
 秋山 泉氏（中央町）
 保坂 貞男氏（穂坂町）
 五味 武俊氏（藤井町）
 岡本 正一氏（藤井町）
 五味 尚彌氏（藤井町）
 中込 盛雄氏（藤井町）

■老別当恩賜県有財産保護組合議員

内藤 正之氏（清哲町）
 仲田 宗士氏（清哲町）
 雨宮 賢一氏（清哲町）
 保坂 孝夫氏（本町）
 清水 一氏（本町）
 太田 武士氏（中島）
 樋口 等氏（富士見）

■下広河原恩賜県有財産保護組合議員

功刀征一郎氏（清哲町）
 水上 米藏氏（清哲町）
 田邊富士雄氏（清哲町）
 内藤 正之氏（清哲町）

仲田 宗士氏（清哲町）
 一木 長博氏（円野町）
 岩下 良一氏（本町）
 向山 和博氏（中島）
 伊藤 孟男氏（下祖母石）
 木内 吉英氏（若宮）
 井上 善吉氏（本町）
 秋山 泉氏（中央町）
 保坂 貞男氏（穂坂町）
 五味 武俊氏（藤井町）
 岡本 正一氏（藤井町）
 五味 尚彌氏（藤井町）
 中込 盛雄氏（藤井町）
 小林 孝之氏（中田町）
 山本 耕造氏（神山町）
 江上 年秋氏（神山町）
 石井 勝氏（神山町）

平成27年 第4回定例会議決結果一覧表

■賛否のあった議案

○賛成 ●反対（森本由美子議長を除く）

議案番号	件 名	金井 洋介	木内 吉英	小沢 栄一	内藤 正之	渡辺 吉基	浅川 裕康	守屋 久	宮川 文憲	高添 秀明	清水 康雄	山本 雄次	田原 一孝	西野 賢一	小林 伸吉	奥石 賢一	一木 長博	小林 恵理子	結果		
議案第71号	平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決	
議案第76号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第93号	公の施設の指定管理者の指定について (荏崎市文化ホール)	●	●	●	○	●	○	●	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	○	●	否決

■全会一致の議案

議案番号	件 名	結果
議案第70号	平成27年一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第72号	平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第73号	平成27年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第74号	平成27年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第75号	平成27年度国民健康保険荏崎市立病院事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第77号	中小企業・小規模事業者振興基本条例	可決
議案第78号	被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例	可決
議案第79号	職員定数条例及び荏崎市の証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第80号	行政組織条例の一部を改正する条例	可決
議案第81号	印鑑条例等の一部を改正する等の条例	可決
議案第82号	税条例等の一部を改正する条例	可決
議案第83号	病児・病後児保育所条例の一部を改正する条例	可決
議案第84号	保育の必要性の認定に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第85号	市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決
議案番号	件 名	結果
議案第86号	公の施設の指定管理者の指定について（荏崎市民交流センター及び荏崎市民交流センター駐車場）	可決
議案第87号	公の施設の指定管理者の指定について（荏崎市子育て支援センター）	可決
議案第88号	公の施設の指定管理者の指定について（荏崎市地域情報発信センター）	可決
議案第89号	公の施設の指定管理者の指定について（荏崎市立図書館）	可決
議案第90号	公の施設の指定管理者の指定について（荏崎市老人福祉センター）	可決
議案第91号	公の施設の指定管理者の指定について（大草デイサービスセンター こぶし荘）	可決
議案第92号	公の施設の指定管理者の指定について（穴山デイサービスセンター なごみの郷）	可決
議案第94号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同意
選挙第8号	御座石恩賜県有財産保護組合議員の選挙について	当選
選挙第9号	第一御座石前山恩賜県有財産保護組合議員の選挙について	当選
選挙第10号	老別当恩賜県有財産保護組合議員の選挙について	当選
選挙第11号	下広河原恩賜県有財産保護組合議員の選挙について	当選

委員会活動報告

各常任委員会の議案に係る条例等については、4頁の「平成27年 第4回議決結果一覧表」をご覧ください。

総務教育常任委員会

■平成27年12月17日 委員会開催

〔主な審査事項〕

- 議案第76号、第78号、第79号、第80号、第86号及び第89号
- ・右の6議案は、全員一致で可決すべきものとするに決しました。

□議案第93号

- ・葦崎市文化ホールの指定管理者を(株)ケイミックスとすることへの賛成少数（委員長を除き、賛成2、反対3）で否決すべきものとするに決しました。

市民生活常任委員会

■平成27年12月17日 委員会開催

〔主な審査事項〕

- 議案第81号、第82号、第83号、第84号、第87号、第90号、第91号及び92号
- ・右の8議案は、全員一致で可決すべきものとするに決しました。

■平成28年2月16日 現地研修

- 葦崎西保育園、保健福祉センター及び静心寮を視察しました。保健福祉センターでは4月1日から介護保険業務を開始するに際し、相談者に適切な対応がなされるよう協議しました。

産業建設常任委員会

■平成27年12月17日 委員会開催

〔主な審査事項〕

- 議案第77号、第85号及び第88号
- ・右の3議案は、全員一致で可決すべきものとするに決しました。

■平成28年2月1日 現地調査

- 1月18日の大雪による穂坂町地内のブドウの被害状況を委員会委員、及び議長、副議長で調査しました。現地で農林課担当者から報告を受け、ブドウ栽培農家からも被害状況や対策をお聞きしました。



保健福祉センター 現地研修

その他の会議

■市立病院で発症したインフルエンザ集団感染について

- 1月20日に報道された院内でのインフルエンザ集団感染について、1月28日に会派代表者会議において市民生活常任委員長も出席し、市立病院の医師及び担当者から報告を徴しました。罹患者等の健康状態や病院の取った対応、感染経路の調査状況などの報告を受けるとともに、今後の院内対策に万全を期すことを要請しました。



ブドウの被害状況 現地調査

今後の各農家の負担軽減を図る方策を市と連携して検討していきます。

一般質問

にらさきの まちづくり ここが聞きたい

10人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。

詳細な内容は、“[韮崎市ホームページ](#)→市議会→会議録検索”でご覧いただけます。録画中継も配信しています。



高添 秀明 議員
[韮誠クラブ]

市議会議員選挙における各候補者の公約について

質問 市長は市議会議員の選挙公報の公約等を分析していると思いますが、どのように分析し、その結果を今後の市政執行にどのように活かしていくのか伺います。

答弁市長 このたびの選挙公報の内容については、多くの市民の皆様のご意見として真摯に向き合っている所存です。限られた紙面上では、議員各位のお考えを十分に表すことができませんので、今後、拝察しますので、今後、様々な場面において議論を重ねながら市政執行に役立てていきます。

交通障害になっていく樹木の伐採について

質問 市道や農道の維持管理は、地区の区長を中心

心に地域住民がボランティア活動として、今日まで対応してきました。

しかし、近年は参加者の高齢化に伴い、作業中の事故なども発生しています。事故防止のためにも各地区と協議を行い、高齢者が樹木の伐採作業を行う場合や危険な箇所は、市で専門の業者に作業の委託をすることにしてはどうかと考えますが所見を伺います。

答弁市長 市道上に張り出している樹木は、土地の所有者あるいは占有者が伐採するのが原則なので、専門業者への外部委託は考えていません。なお例外的に、道路の安全管理上、緊急性、危険性がある場合には、今後道路管理者である市で対応していきます。

子育て支援について

質問 児童や生徒の給食費の公費負担化についての考えを伺います。

答弁市長 施設整備費や人件費等の学校給食の運営に要する経費については公費負担としており、保護者に負担していただく

く経費は給食材料費に相当する額としていますので、ご理解願います。

質問 将来の韮崎市を背負って立つ子どもたちの習い事等への助成について所見を伺います。

答弁市長 塾や習い事は、それぞれの趣味の段階から学習に至るまで、極めて多様な範囲にわたり保護者の考えのもとに行っているものなので、費用に対する助成については考えていません。

質問 子育て支援の観点から育英奨学金制度の充実を図るとともに、高校生も対象にすべきと考えますが所見を伺います。

答弁市長 市育英奨学金貸付制度は、広く就学困難者への支援をするものとして、返還免除の規定のある有利な制度ですが、対象者等、子育て支援の観点からも他の制度との連携を検討しています。

質問 県は来年4月から重度心身障がい児の医療費窓口無料を検討するとの報道がありました。本市でも子育て支援の観点から検討すべき課題と考えますが所見を伺います。

答弁市長 明年4月より子ども医療費の助成と同じ年齢までを対象とし、窓口無料化を実施します。



浅川 裕康 議員
[菰誠クラブ]

本市の見守り体制について

質問 本年7月に石川県輪島市に赴き、「輪島市地域貢献見守り事業」について行政視察研修を行いました。この事業は市と配達、配送、集金等を日常業務として行っている民間事業者の協定により、業務中に住民の生活環境に異変を察知した場合の連絡体制を整備するためのもの、現在74の民間事業者の協力を得て、市職員が常時、市民の安全安心な生活を見守るための体制を構築したものです。本市における見守り事業には、どのようなものがあるのか伺います。

答弁市長 現在、高齢者見守りネットワーク、認知症支援ネットワーク、徘徊SOSネットワーク、地域住民グループ支援事業、高齢者生活状況確認事業、配食サービス事業

及び緊急通報体制整備事業を実施し、関係機関との協力体制を構築しています。

質問 過日、山梨県民信用組合葦崎支店、株式会社セブンイレブンジャ

パンとの間で見守りに関する協定を締結されました。具体的な協定内容及び活動内容について伺います。

答弁市長 現在、生活協同組合パルシステム山梨、山梨県民信用組合葦崎支店及び株式会社セブンイレブンジャパンと見守り協定を締結しています。

これらの協定では、業務中に市民の異変に気づいた際に市へ連絡をするとともに、生命、身体に危険と判断した際には、消防署や警察署に通報することとなっています。

また、新聞配達業者や日本郵便株式会社から連絡があった際にも、同様に対応を行っています。

質問 輪島市と同様に、民間事業者との協定を増やしていく考えなのか、見解を伺います。

答弁福祉課長 ご協力いただける団体につきましては、広く締結していきたいと考えています。

選挙年齢引き下げに伴う本市中学校教育について

質問 選挙権年齢を20歳以上から18歳以上へ引き下げる改正公職選挙法が成立しました。中学校3年生が、わずか3年後には有権者として政治参加することになります。私たち大人は、選挙の意義をしっかりと伝え、また重要な政治的意思決定である選挙について、知識を暗記するような教育と

ならないよう指導していく必要があります。中学校の段階から継続した今以上の教育が必要になると考えますが、今回の法改正を受けた本市中学校教育の今後の姿勢について伺います。

答弁教育長 改正公職選挙法の成立に伴い、小・中・高教育を通じ、より早い段階から子どもたちが主体的に政治参加意識を高めていける教育が必要となります。今後、特に中学生に対しては、全ての教育活動を通して、市・国の政治と自分たちの生活について考える主権者教育の一層の推進を図ってまいります。



小沢 栄一 議員
[菰誠クラブ]

災害防止対策について

質問 異常気象による河川洪水や土石流等に係り、ハザードマップに示されている危険箇所への現在の対応を伺います。

答弁市長 現在、県事業として3事業を行っており本年度より治水工事が施工されると伺っています。今後も、引き続き危険箇所への対策工事を県へ要請してまいります。

質問 太陽光発電施設設置に伴う森林伐採等、斜面崩落や土砂災害の発生が懸念される中、発電施設設置に伴う新たな危険区域の状況を伺います。

答弁市長 太陽光発電設備設置に伴う災害への影響については、森林法等や山地災害防止関連法令、県のガイドラインに基づき、様々な見地から適切に設置事業者の指導がなされるので、新たな危険区域の発生は抑止されて

いると理解しています。

赤ちゃんへの予防接種助成について

質問 ロタウイルスワクチン、B型肝炎ワクチン接種の対象となる赤ちゃんの接種費用補助導入の考えを伺います。

答弁市長 B型肝炎ウイルスワクチンは、広く接種を促進することが望ましく、現在、国で定期接種への追加が検討されています。またロタウイルスワクチンは、現在、専門家による副反応などの評価を行っているので、その動向も注視していきます。

葦崎市立病院について

質問 病院が過日、峡北消防本部救急隊に行った聞き取りでは、当直医の診療科目が異なる場合に断られる、救急の連絡を入れても収容の可否の回答が遅いなど、早急に改善すべき課題が挙げられています。救急患者の受け入れ体制に現時点で改善が図られているのか

伺います。

かかりつけ患者や終末期等で一時退院している患者については、主治医がオーダリングシステムに特記情報を記載することで当直医、看護師を含めた情報共有を図り、対応する院内体制を構築しました。なお一次救急で開業医が対応できなかった患者も含め、市民の生活と健康を守るという公立病院の使命に則り、民間医療機関では提供が困難な救急医療を継続して提供するため、峡北地域内外の医療機関並びに医師会等と連携を図りつつ現状の救急体制を堅持して対応を行うとともに、受入体制の充実・強化を図るため、引き続き山梨大学へ医師の増員を要請してまいります。

質問 窓口での受付や会計時のマンパワー不足の改善はなされているのか、また今後の予定について伺います。

答弁市長 本年8月以降、会計窓口の混雑状況に応じてレジ対応の職員を増員し対応していますが、さらなる待ち時間の短縮と患者サービスの向上を図るため、明年2月からクレジットカード払いを導入することとしました。



山本 雄次 議員
[協伸クラブ]

その他質問

- ◆旧地方病溝渠（コウキョ）について
- ・本年度までの改修率について
 - ・今後の改修予定について

文化財探索・探訪者の進路確保について

質問 標高1,000メートルの高台に位置する市指定文化財の穂見神社・高野槇（コウヤマキ）・翌檜（アスナロ）などの3点、それ以外に県自然環境条例による自然記念物、苗敷山のモミ林があります。苗敷山には近年盛んとなった史跡再発見ウォークや史跡見学会等に乗じて年間300人から400人近くの人たちが訪れています。既に市長も現地を視察しているとのことですが、探訪者の皆さんは車でなく、麓から徒歩で登ります。その道は昔からの山道で草木が生い茂り、その中を掻き分けながら登っている状況で、夏場はやマヒルとの戦いです。先人たちが残した貴重な指定文化財を多くの人たちに見て、知ってもら

うためにも、簡易な探索道を開通させることはできないのか伺います。

答弁 教育委員長 標高1,000メートルにある江戸時代の建造物として貴重な文化財である穂見神社が、氏子の皆様の絶え間ない努力により保護されていますことに敬意を表します。探索道を含む文化財の管理については、所有者あるいは管理者が行うこととなっているので、ご理解願います。

質問 この史跡周辺から次の史跡までの目安となる案内看板の取り付けについてですが、訪れた人たちのために、これらの史跡を探索した後に周辺を観光するため、案内板の設置に向けての検討について伺います。

答弁 教育委員長 史跡周辺から次の史跡までの目安となる案内板については、市内文化財を結ぶ総合的な案内看板の設置は

ありませんので、今後の検討課題とします。

増え続ける鳥獣被害について

質問 平成9年から始まった電気防護柵の設置事業は、総延長19,000メートルで、総投資額は鳥獣の捕獲手当ても含む中で1億数千円以上と聞いています。設置後、市と地元で協力しながらあらゆる方策を試みて対処してきたと思いますが、万全といえる対策には至りません。鳥獣被害は果樹や野菜などの農作物だけに留まらず、出展直前の菊の花など生活に直接関係のない被害も甚大です。これから先、抜本的な対策はないのか伺います。

答弁 市長 鳥獣害対策についてですが、これまでに電気柵の設置や猟友会による捕獲、エアガンによる追い払いなど、地域と連携して取り組んできたところですが、根本的な対策には至っていないのが現状です。今後関係機関、団体と連携を図り、有効策について研究し、被害防止に努めていきます。



木内 吉英 議員
[協伸クラブ]

防災・減災力の強化について

質問 現在消防団員数は718名です。被用者率の上昇（平成12年度80・8％に対し、27年度84・7％）、高齢化（平成12年度平均年齢32・8歳に対し、27年度平均年齢36・4歳）しているのが実情です。

新入団員の確保も困難な状況が続いています。新入団員確保に対しての考えを伺います。

答弁 市長 消防団員の確保については、平成26年度から組織の再編と定数見直し、消防団活動協力員制度、消防団サポート事業の創設など、団員の支援体制を強化して各地域で団員を確保しやすい環境づくりに努めています。

質問 今後も地域減災リーダーを育成していくため、育成講座等を行っていく、認定者を増やす

ことが望ましいと考えますが、市の考えを伺います。また自主防災力の強化、減災への取り組みについても伺います。

答弁 市長 地域減災リーダーの育成は、育成講座の開催時期を工夫し、減災の核となるリーダーのさらなる育成に努めていきます。また本年度より自主防災会の資器材支援事業を創設し、自主防災力の強化を図っています。

質問 消防団員の役割として消火活動のほか、地域の高齢者等の見守りや災害時の避難誘導等も重要と考えますが、消防団員の高齢者支援に対する考えを伺います。

答弁 市長 消防団は安全・安心なまちづくりに欠かせない存在であり、今後も地区・自主防災会との連携の中で、引き続き共助の力による高齢者支援の一翼を担っていただきたいと考えています。

中心市街地活性化について

質問 「のれんのまちなみ事業」の今後の展開を伺います。

答弁 市長 現在実施している事業の検証を行い、まちなかの活性化に結びつく、より効果的な事業を研究していきます。

質問 商店街衰退の原因の一つに後継者不足が考えられます。店舗の改装や事業の転換時に受けられる事業継承支援への考えを伺います。

答弁 市長 事業継承には後継者の確保が大きな課題であることは十分認識しているので、明年度以降、事業継承のための支援策について様々な角度から研究していきます。

市内イベントについて

質問 平成25年8月から行っている「ニラマルシェ」の今後の展開について伺います。

答弁 市長 「ニラマルシェ」は来場者や出展者の意見等も十分参考にしながら、引き続きさらなる魅力の創出に努めていきたいと考えています。

質問 イベント時に大量に発生するごみへの減量アクションを伺います。

答弁 市長 ごみ減量アクションプランの推進を図り、ゴミの減量に取り組んでいきます。



小林 伸吉 議員
【公明党】

その他質問

◆公共施設等総合管理計画について

18歳選挙権制度について

質問 近年、若者をはじめ有権者の投票率は低下傾向にあり、本市も昨年の衆議院議員選挙、本年4月の県議会議員選挙、10月の市議会議員選挙と、前回の投票率を下回っています。明年の参議院議員選挙から選挙権が18歳以上になりますが、有権者の政治離れへの対策とともに、投票しやすい環境を整備して有権者の利便性の向上を図り、投票率の向上に努めていくことが必要と考えます。本市の考えを伺います。

については、先の市議会議員選挙でツイッターなどへの選挙公報の掲載、商業施設やニラマルシェでの街頭啓発、ニコリへの懸垂幕の設置など、選挙啓発のさらなる充実を図りました。

質問 特に投票率が低い若者の世代や30歳から40歳代の子育て世代が集まり、近くに高校もある市民交流センターニコリ内に、期日前投票所を設置してはと考えますが、市の考えを伺います。

回答 総務課長 期日前投票所を複数設けることも検討課題の一つです。来年の参議院議員選挙が新たな選挙権の拡大の最初の選挙なので、詳細な検討をしていきたいと思えます。

次世代を担うこと もの育成について

質問 「子育てするなら葦崎市」、これは葦崎市まち・ひと・しごと創生

総合戦略案の一節です。教育大綱にはICT機器を活用した、わかりやすい授業の充実を図るため、ICT機器の整備を推進するとあります。

愛知県岡崎市では、タブレット型パソコンを導入し、英語を中心に活用方法を研究した結果、学習意欲の向上が見られるなど、教育効果が高いとの報告がありました。本市は全小学校が「英語教育モデル事業」の指定校であり、教育効果が期待できるICT教育環境の整備をさらに進める必要があると考えます。計画を示してください。

回答 教育長 市内全小・中学校で、パソコンルームでのパソコン操作練習やインターネットを利用した調べ学習、本年度から取り組んでいる英語教育強化地域拠点事業では電子黒板を活用した授業を実施するなど、ICT機器を効果的に活用し、わかりやすい授業を行っています。また機器整備として小学校4校、中学校1校のパソコンをタブレット型に更新しました。今後も児童・生徒の情報活用能力や学習意欲の向上のために、ICT機器の整備を進める考えです。



小林恵理子 議員
【日本共産党】

その他質問

- ◆市長の政治姿勢について
- ◆住宅リフォーム助成制度の継続について
- ◆TPP交渉「大筋合意」の影響について

葦崎市文化ホールの指定管理者について

質問 市は今議会に、葦崎市文化ホールの指定管理者を東京都の株式会社ケイミックスにする議案を提出します。長期間、一般財団法人 武田の里文化振興協会が行ってきたものを東京の大手民間企業に管理運営させることに市民の間から疑問の声が上がっています。指定管理者の選定の審査及び評価に関する資料を提示し、説明すべきです。

また、その後の武田の里文化振興協会のあり方について、さらに現在文化ホールで働く職員の処遇について市の考えをお聞きします。振興協会は職員の正職員化を進めてきたと聞いています。雇用が継続されても処遇が後退するのでは問題です。

回答 市長 市の公の施設に係る指定管理者制度導入に関する基本方針に基づき、募集要項及び選定基準を定め、指定管理者選定委員会が審査を行いました。全員協議会で選定経緯と評価項目について説明する予定です。

回答 教育委員長 武田の里文化振興協会の今後のあり方については、協会と適切な判断がなされると思います。また、協会職員の雇用は、指定管理候補者から継続雇用の提案がされています。なお、同様な事例での施設職員としての定着率は、ほぼ100%と聞いています。

市立保育園の民営化の検討について

質問 西保育園、東保育園について民営化を検討する方針が示されました。公立から民間への移行は、これまでの整備計画とは大きく質が異なる問題です。民営化のメリット・デメリットなど判断材料

を提示することが必要です。公立保育園が担ってきた意義は大きく、市民の必要性を優先して、純粹に公共を軸とした事業を行えること、子どもの育ちを長期に捉えた専門性から地道な定評のある保育を担えること、行政の直営施設なので、子どもや家庭の状況を直接的に把握し子ども施策に反映できること、他の公立の機関との連携が容易で、より豊かな保育・子育て支援をしていく機能を持つことなど、改めて公立保育園の果たす役割を検証する必要があります。西保育園の民営化の検討は早急にせず、利用者と地域の納得の上でなければなりません。

回答 市長 葦西市保育園及び葦崎東保育園は、地域に馴染んだ現在地で営利を目的としない社会福祉法人等に移管して運営することで、限られた財源、人材を効率的に活用していく考えです。市立保育園と民間保育園が相互に連携を図り、協力し合い、切磋琢磨していく中で、市全体としての保育水準が引き上げられることを期待します。



渡辺 吉基 議員
[日本共産党]

その他質問

- ◆地域医療構想などによる市立病院の病床数や経営について
- ◆地域からの要望について
 - ・水神地域七里岩（青坂）の崩壊危険箇所に伴う防護措置について
 - ・主要地方道茅野・北杜・韮崎線（青坂）の歩道の設置について
 - ・県道甘利山公園線の速度規制の表示などについて

国民健康保険について

質問 山梨県社会保険推進協議会の2015年8月のアンケート調査によると、県内13市の中で韮崎市は2番目に高い国保税になっています。日本共産党が今年6月から7月に行った住民アンケート調査の中で、医療、介護、福祉に係り特に力を入れてほしい政策を3つ上げてくださいますの問いに、国保税の軽減を回答者263人のうち139人の方が望まれました。基金は、前年度決算に基づき1億3,078万を積み立て、3億9,485万円になる見込みです。

市民の重い負担になっている国保税を少しでも下げ、暮らしやすくすることは重要です。一世帯当たり平均1万円引き下げる財源は基金の12%だけ回せば可能です。

答弁市長 国民健康保険

は低所得者や高齢者の加入率が高いといった構造的な問題を抱え、今後も急速的な高齢化、医療の高度化等による医療費のさらなる増加が見込まれるので、保険税の引き下げは現状考えていません。

質問 韮崎市の2008年度から2012年度までの5年間の資格証明書発行世帯延べ644世帯のうち、受診した世帯数は98世帯で受診率は2・5%と極端に低いものです。資格証明書発行世帯で、この5年間で3人亡くなっていますが、この3人の方には医療機関の受診歴がありません。亡くなるまで受診していないという深刻な実態です。国保税の滞納者の多くは払うにも払えない低所得者であり、こうした人たちが病気になることも安心して医療機関を受診できるようにするべきです。

資格証明書を発行する場合でも、「特別の事

情」に該当した場合は、被保険者証を交付すべきです。

答弁市長 本市では機械的な運用ではなく被保険者との面談等を持ちながら、特別な事情を把握し、個々に対応しています。

重度心身障がい児医療費助成の窓口無料化について

質問 重度心身障がい児の医療機関受診時の窓口無料化を実施する市や町が広がっています。健常児は窓口無料なのに、障がい児は窓口で一時払いしなければならぬため不公平であり、健常児と公平性を欠く状況にあるとの判断からです。本市でも早急に重度心身障がい児の医療費の窓口無料化を実施すべきです。

答弁市長 明年4月より子ども医療費の助成と同じ年齢までを対象とし、窓口無料化を実施します。

窓口無料化を実施します。



田原 一孝 議員
[進進クラブ]

その他質問

- ◆認知症対策について
- ◆グリーンフィールド穂坂の駐車場確保について

東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致について

質問 オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致について、2016年4月から市町村の合宿候補地としての情報登録が始まり、リオデジャネイロオリンピック後に公表され、各国の合宿地選定の参考にされます。既に県内の9市町村、11競技団体が合宿誘致の意向を示しています。

本市も「サッカーのまちにらさき」として、サッカーの事前合宿誘致に積極的に取り組んでいきたいのですが、県に意向を示す時期とあわせ、見解を伺います。

答弁市長 東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致については、現在、サッカーのまちづくりプロジェクト推進委員会の推進委員会を中心に

調査研究をお願いしています。現段階では、韮崎中央公園等の景観や気象条件といった長所を活かすとともに、現有施設を最大限活用してキャンパス地としての要件を満たすための環境、施設、財政面の検討を重ねていると伺っています。今後、その結果をもとに、「サッカーのまちにらさき」という本市の特徴を考慮して、しかるべき時期までに結論を出していきたいと考えています。

教育環境の整備充実について

質問 少人数学級編制に対する教職員の配置についてですが、県では平成26年度に公立小中学校全学年で少人数学級編成となり、子どもたちへのきめ細やかな学習指導で学力の向上が期待されていますが、本市での来年度各小中学校の少人数学級編成に応じた教職員の配

置はいかがか伺います。**答弁教育長** 平成28年度の学級編成については、現段階ではほとんどのクラスで県基準の1学級あたり30人、あるいは35人以下のクラス編成ができるものと予想されていますが、県基準を超えてしまいうクラスが生じる場合は、アクティブクラスとして県が教員を配置することになっています。

質問 本年4月、小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）で、山梨県は、小学校が全5分野で、中学校においても全5分野中2分野が全国平均を下回った結果が出ましたが、本市の結果について伺います。

答弁教育長 本市の本年度の平均正答率は、小・中学校5分野のほとんどで県や市の平均を上回る良い結果となっています。この要因は、家庭学習の時間の増加やスマートフォンやパソコン、テレビ視聴の時間の減少により生活リズムが改善されたことなど、家庭と学校が一体となって取り組んできたことが成果につながっていると考えられます。



清水 康雄 議員
[親和クラブ]

その他質問

- ◆鳥獣害対策について
- ◆県道甘利山公園線拡幅計画について
- ◆下水道計画について
- ◆甘利第三配水池改修計画について
- ◆通学路の安全対策について

大村智博士ノーベル医学・生理学賞の受賞について

質問 このたびノーベル医学・生理学賞を受賞されました大村博士に心からお祝いを申し上げます。以前から世界的にご活躍されており、いつかは大きな名誉ある賞を受賞されることは予想されており、本市では平成12年の第4回定例会において全員一致で「蕪崎市名誉市民」に決定しました。そこで大村博士の受賞を記念する事業について、市としてどのような計画を考えているのか伺います。

また、このたびの受賞に際し、市内はもとより、さらには県内外から多くの観光客が蕪崎大村美術館や白山温泉等、市内の観光地を利用しています。交流人口の増加にも大村博士の与えてくれたチャンスを活かせば、大村博士も地域への貢献を喜ん

でいただけることと思います。今こそチャンスです。市の考えを伺います。

答弁市長 まず、受賞に伴う蕪崎市としての記念事業等についてです。大村博士のご功績を末永く称えるため、かつて旧蕪崎中学校へ通った甘利沢川沿いにある遊歩道を「幸福の小径（こうふくのこみち）」と名づけ、今月20日、甘利沢川さくら公園において命名記念式典を開催します。今後は美術館までの小径沿いに先生の銅像を建立するほか、女子美術大学関係者による作品を配置するなど、訪れる多くの方々にノーベル賞を育んだ原風景を感じながら、ゆつくりと散策していただける小径として整備していきます。

次に、受賞に伴う本市の活性化策についてです。ノーベル賞受賞決定後の10月6日以降、11月末日

質問 甘利沢川沿いのさくら公園に銅像を建立する計画とのことですが、蕪崎市民並びに蕪崎市を訪れる観光客が一番利用するところが蕪崎駅です。駅前にも銅像の建立を検討したらいかがでしょうか。

答弁企画財政課長 さくら公園は、富士山、茅ヶ岳、八ヶ岳を一望できる素晴らしいところで、この公園の一角は先生もお気に入りの場所とのこと。先生が生まれ育った環境を楽しんでいただければと思っています。議員ご提言の蕪崎駅前への記念となるものの建立については、大村先生のご意見を伺いながら、今後検討していきます。

議員が行う質問と質問持ち時間

■一般質問・代表質問・再質問・関連質問について

年4回開催する定例会において、本市議会での質問通告書に基づく質問には、代表質問と一般質問があります。代表質問は3月と9月の定例会で行っています。

- 一般質問…市の行財政全般に対することについての議員個々の質問です。
- 代表質問…市の執行方針や計画などについて会派の代表として行う質問です。
 - ・代表質問は、2人以上の会派で、所属する会派の議員を代表して行います。
 - ・代表質問者と一般質問者は重複することはできません。
 - ・代表質問については、他の議員は関連質問はできません。
- 再 質 問…質問をしている議員が、執行部の答弁に対して再度質問を行うものです。
- 関連質問…一般質問者の質問に関連する内容で、質問者が所属する会派の議員が質問をできます。
 - ・一般質問者1人に対し同一会派3人までとし、質問時間は1人5分以内です。
 - ※執行部からの答弁の時間は質問時間を含めません。
 - ・制限時間内（5分）であれば質問回数の制限はありません。

■議員の質問持ち時間について

議員の質問時間（持ち時間）を次のとおり議員間で決めています。

- 一般質問の議員1人当たりの持ち時間は、執行部からの答弁も含め60分です。
- 代表質問の議員1人当たりの持ち時間は、所属する会派の人数に応じて割り当てています。
- 再質問の時間は、質問及び答弁の1人当たりの持ち時間に含まれます。



研修報告

行政視察

議会運営委員会行政視察研修

2月8日、9日の2日間、岐阜県の高山市議会及び多治見市議会を視察研修してきました。両市議会ともに議会活動の活性化、改革に積極的に取り組んでおり、両市議員と有意義な意見交換ができました。現在、本市議会でも検討を進めている議会の改革や活動の展開に活かしていきます。



多治見市議会での研修

研修会

山梨県市議会議長会議員合同研修会(後期)・山梨県市町村自治講演会

2月4日、午前中はアピオ甲府で合同研修会に参加し、花巻市コミュニティアドバイザー役重眞喜子先生の講演を受講しました。平成の合併によってもたらされた自治体・地域コミュニティ関係の変容について話がされました。午後は山梨県自治会館に場所を移動して、拓殖大学海外事情研究所教授 富坂聰先生が講師となられた講演会に出席しました。



市議会議長会議員合同研修会

編集後記

本市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。本策定審議会の委員長を務められました井原久光東洋学園大教授は「最後は立派な総合的かつ戦略的な計画が完成したと自負している」、「市民に参加を得たことで、もっと市民目線に立ったより良い行政の執行になることを期待できる」とおっしゃっています。

今回の策定には市職員だけでなく、市民の皆さんにも参画をいただきました、さらに審議会を構成する

各委員の専門的な知識、経験を反映した各種事業が盛り込まれています。議会も実効性のある計画の推進に努めるため、様々な機会を通じ、今後の進捗状況の確認や実績の検証を行い、市民の皆様にお知らせしていきます。

市議会だより編集委員会
委員長 森本由美子
副委員長 宮川文憲
委員 小林恵理子
委員 興石賢一
委員 山本雄次
委員 高添秀明
委員 守屋久

2月25日	開会 諸報告 市長所信表明 財務常任委員会
3月 7日	代表質問・一般質問
8日	一般質問
9日	議案審議
11日	各常任委員会
14日	財務常任委員会
16日	議案審議 委員会報告 閉会

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会において正式に決定されます。

※委員会の傍聴を希望する方は、事前に申込手続きが必要です。

※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

3月定例会日程〈予定〉